

学道一如

発行 高校
小樽双葉通信
生徒会
2024年7月4日
第19号

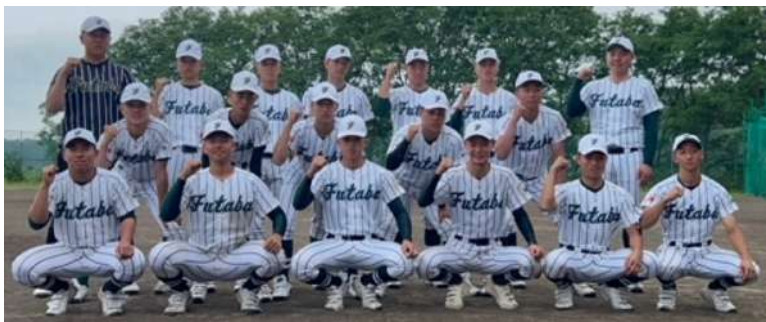
バスケットボール部 初戦勝利 全道ベスト16

バスケットボール部（写真左）は高体連全道大会（小樽）で一回戦、白樺学園と対戦し、82-69で勝利し、二回戦、北海道栄と対戦し、57-87で敗退した。全道ベスト16入りした。3年生はほとんどのメンバーが11月のウインターカップまで競技を続けるという。主将の長凜華さん（3-2）に話を聞いた。



白樺学園戦はオフエンスもディフェンスも足を動かし、攻めることができなかったので、良い形でシュートに持っていくことができた。北海道栄戦は足があまり動かず、ディフェンスの時、スクリーン対応がうまくいかなかった。課題としては、ゾーンで守っているときのリバウンドとスクリーンへの対応がある。ウインターカップに向けて克服していきたい。

野球部 3年生が引退 小樽支部予選で倶知安に敗れる



令和6年度選手権大会 南北海道大会 小樽支部予選 1回戦

6月27日（木）市営桜ヶ丘球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
倶知安	0	0	0	1	2	0	1	0	4	8
双葉	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3

投手-捕手 佐藤・高橋（6回）・石井（7回）・佐藤（9回）-櫻庭
3塁打 桂（2回）
2塁打 櫻庭（5回）

主将の櫻庭聖哉くん（3-4）は「初回のバッティングは順調だった。神が出塁して、自分が返し、5番後藤のヒットで2点先制した。後半の7回、9回にエラーで失点したことが悔やまれる」と語った。この試合をもって3年生は引退となった。「後輩たちには、自分たちのような結果にならないようにしっかり練習し、先生たちの話をよく聞いて、勝ってほしい」と述べた。「仲良く、協力し合うことが大事」と言う。大学でも野球を続けるという櫻庭くん「野球を通して人間性を高めることができた。特に挨拶や礼儀が身についた」と言う。

教員の使命を自覚し生徒の信頼を 教育実習生 建部観月先生



本校出身（特進）で、北星学園大学 文学部 英文学科4年の建部観月先生（左）が6月24日から3週間教育実習に来ている。高校時代は、休み時間は楽しみ、授業には集中して取り組む元気で切り換えのできる生徒でした。趣味は音楽を聴いたり、海外のドラマを見たりすること。お気に入りにはクリミナル・

を自覚している。先生は「学問はつながっている」ことに気付かせてくださった。先生方は授業や集会を通して、「考える力」や「先を見通す力」を鍛えてくださった。どれも大切なことであるため、生徒の皆さんにも是非身に付けてもらいたい。英文科に進んだのは色々な国の色々な考え方に触れ、視野を広げられるからだ。教育実習では感謝の気持ちをお忘れず、教員の使命を自覚し、生徒の信頼を得たい。双葉の先生は優しいので、困ったことがあれば何でも相談してほしい。高校生活を楽しく過ごしてください。

興味は音楽を聴いたり、海外のドラマを見たりすること。お気に入りにはクリミナル・マイノリティ。特技は色々な人と仲良くなれる。休日は観光スポット巡りや食べ歩きをしています。好きな音楽はラップとバンド系で、RADWIMPSやArchie、映画はハリウッドが大好き。映画はハリーポッターがお気に入り。大学進学を目指している人は入学前にレポートを書く力を身につけておくとよい。また、1コマ90分なので、集中力が大事になる。大学生活はコロナの時期と重なり、サークル活動はできなかつたが、学習塾のアルバイトを4年間続けてきた。本校の北村先生に憧れ、教員